

理科部會報第十八號目次

	常會記事	1
講 話	1. 生物の光	4
	2. 空中窒素利用法	23
	3. 人造絹糸	40
	4. 蓄音機の話	49
	5. レンズ製造所を觀る記	59
論 說	6. 一等國	63
	7. 徹底といふ語の濫用	64
	8. 徹底せねばならぬものはただ一つ	65
	9. 文明の極は蠻なり	66
雜 錄	10. 理化學研究所	66
	11. 寄宿舎と結核患者	69
	12. 一木文相の訓示	70
	13. 衛生思想普及策	71
	14. 學問獨立の好機	71
	15. 日本藥學會	73
	16. 長井博士の成功	74
	17. 硫酸アトロピンの成績發表	75
	18. 硝蒼の原料成る	78
英文欄	女子教育——解説	80
圖書目錄		83
附 錄	第一回學術談話會—總會—記事	1
正 誤		13
會計報告		16

常 會 記 事

六月十七日(木曜日)午後正六時より本校講堂に於て理科學術談話會を開き左の講演ありたり。

- 1, レンズ製造所を觀る記 理一,四, 相馬,新井,村岡,光
- 2, プランクトン)幻燈使用) 理二,四, 木森,高橋,築地,長岡,窪田
- 3, 物理實驗 乙部教授,

此の日稍曇り勝ちなりしも會長始め諸教授出席あり見慣れぬ新舊卒業生も例ならず多數來會ありたり。その言に幻燈使用といふ題に引かれて參りましたと。成る程動くもの光るもの音の出るものは博覽會や店頭などにて人も人が集るものなり。

定刻開會 乙部長開會の辭を述べ「從來の慣例を破り木曜日而も夜に會を開くに至りたるは今學期の初より四年の修學旅行等の爲めに機會を得ず、學期試験も近づきて餘日なきより止むを得ざること——前號に注意し置きたる如く今學年中に第二回三科合併の總會あるべきにより四年生中當番の人は今よりその準備をなすべきことその題目は第一回は物理化學より出でたる故第二回はそれ以外よりするを適當と考ふること——又第二學期の理科會の話題は此の夏休みの採收等により充分用意し可及的學期の初に開會したきことを述べ、序に